主な機能

重要

C1000インバータでは、エンコーダまたはPGを使用せずに位置決め制御を行うため、以下の内容がサーボと異なるので、注意してください。

- ●電源遮断、及び運転中にC1000の出力を遮断（ベースブロック）すると、C1000内部の位置情報がリセットされます。このため、電源投入時、及びC1000の出力遮断後は、必ず外部で原点復帰してから位置決め制御を行うシーケンスにしてください。
- ●エンコーダまたはPGを使用していないため、位置に関する機械的な保護を、必ず外部で行ってください。
- ●電源投入直後に運転を開始した場合、モータの振動が大きくなる可能性があります。
  電源投入後一定の時間をおいて運転を開始してください。（目安：30秒以上）

項目		内容
制御機能	制御方式	PM用PGなしアドバンスドベクトル制御
	周波数制御範囲	0.01～400Hz
	周波数精度（温度変動）	デジタル指令：最高出力周波数の±0.01%以内（−10～+40℃） アナログ指令：最高出力周波数の±0.1%以内（25℃±10℃）
	周波数設定分解能	デジタル指令：1Hz アナログ指令：1Hz
	周波数設定信号	0～10V、4～20mA、パルス列入力
	始動トルク	150%/0 r/min
	トルク制限	あり（4象限個別に設定可能）
	加減速時間	0.00～6000.0秒（加速・減速を個別に設定：4種類切り替え）
	位置指令方法	入力可能信号：オープンコレクタ、ラインドライバ ①符号+パルス列（正論理） ②CW+CCW（正論理） ③90°位相差二相パルス（4倍）
	モータ1回転のパルス数	0.1～0.4kW：2048パルス、0.75～2.2kW：3072パルス
	電子ギア	入力指令1パルスあたりのモータの回転量を任意に設定可能
	停止精度	0.1～0.4kW：±5°（機械角）、0.75～2.2kW：±3.3°（機械角）
	制動トルク	約20%（制動オプションを使用して約125%） ①短時間平均減速トルク：モータ容量0.4/0.75kW：100%以上 モータ容量1.5kW：50%以上 モータ容量2.2kW：20%以上 ②連続回生トルク：約20%（制動オプション接続で約125%、10%ED、10秒）
	主な制御機能	位置制御、速度制御、瞬時停電再始動、速度サーチ、過トルク検出、トルク制限、17段速度運転（最大）、加減速切り替え、3ワイヤシーケンス、周波数指令上下限設定、PID制御（スリープ機能付き）、MEMOBUS 通信（RS-485 最大115.2 kbps 最大31台接続可能）、異常リトライ、過電圧抑制機能など
入出力（注1）	多機能接点入力	8点：運転指令（2ワイヤシーケンス2）、クリア入力信号、外部異常、異常リセット、正転側駆動禁止、逆転側駆動禁止、正転運転、逆転運転、多段速指令1～4、加減速時間選択1・2、ベースブロック指令、非常停止など
	多機能アナログ入力	2点：主速周波数指令、加減速時間ゲイン、トルクリミット、過トルク/アンダトルク検出レベルなど
	多機能接点出力	4点：位置決め完了、運転中、異常、過トルク/アンダトルク検出、速度一致、回転角同期信号、トルクリミット中など
	多機能アナログ出力	1点：出力電流、モータ速度、出力電力、トルク指令（内部）など
表示機能	モニタ表示	周波数指令、出力電流、モータ速度、主回路直流電圧、出力電力、トルク指令（内部）、入出力端子の状態、MEMOBUS通信エラーコードなど
	LEDランプ表示	異常検出時、軽故障検出時・oPE（オペレーションエラー）検出時・正転/逆転指令入力中、ドライブモード時・オートチューニング時、DriveWorksEZを使用時など
保護機能		モータ保護、瞬時過電流保護、過負荷保護、過電圧保護、低電圧保護、瞬時停電補償、ヒートシンク過熱保護、制動抵抗過熱保護、ストール防止、地絡保護、充電中表示

注1. 多機能接点入出力、多機能アナログ入出力はパラメータにより、項目の選択が可能です。